

2020年度国際交流プログラム活動報告

大阪工業大学国際交流センター

INTERNATIONAL



目次



03 国際交流プログラム報告書の発行にあたって

04 国際交流プログラムについて

05 語学研修・文化体験プログラム

08 国際PBLプログラム

10 学部・学科・研究科の独自プログラム

13 協定校主催のプログラム

14 海外交流協定校一覧

16 キャンパスでの国際交流

17 国際交流センター



国際交流プログラム報告書の発行にあたって

2020年1月に発生した新型コロナウイルス感染症は、瞬間に世界中に広がりました。年々増加していた訪日外国人の姿も消え、国境を越えた人の往来は今も厳しい状況にあります。本学の国際交流プログラムにおいても、多くのプログラムが中止となりました。その一方で、このような状況下でも「交流したい」という思いは消えることなく、オンラインという新しい形で語学研修や国際PBL等の一部プログラムを実施することができました。

現在、世界中でNew Normal が求められています。今こそ国を超えて人々が力を合わせ、新しい生活様式を作り上げていかなければなりません。新しい国際交流の形態の中で、皆さんが柔軟な思考を持つ学生時代に今まで考えもしなかった異なる価値観に触れ、視野を広げて、将来グローバル社会で活躍できる人材へと成長することを心から願っています。

2021年4月

国際交流プログラムについて

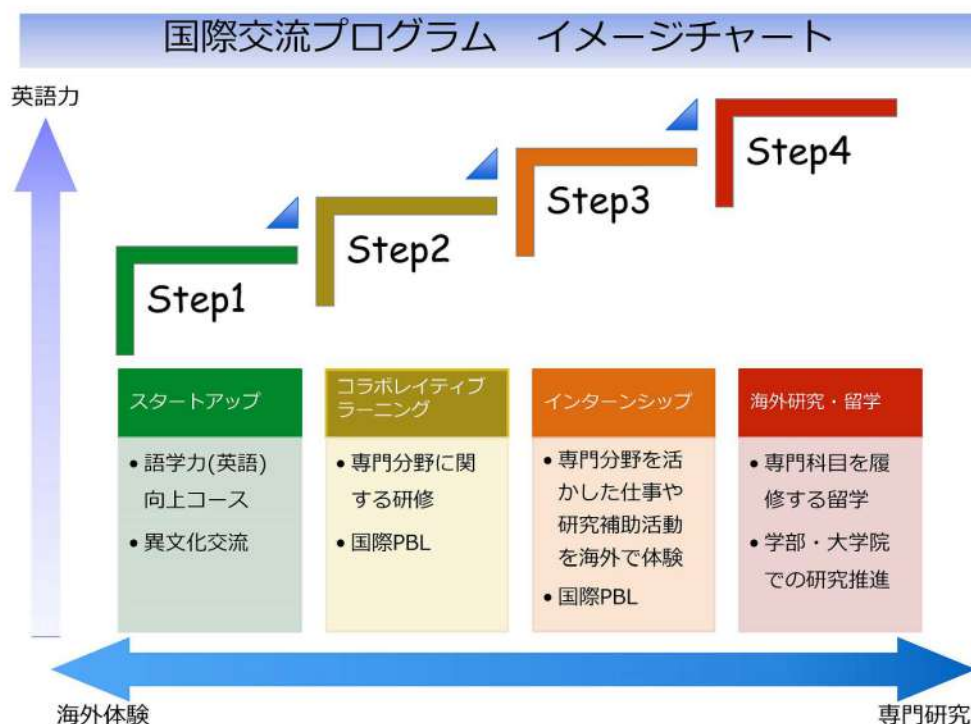
About OIT Study Abroad Programs

現代社会では、企業の生産拠点の海外移転、市場のボーダーレス化などにより、あらゆる活動に「グローバル化」が浸透してきています。本学における人材育成においても「グローバル化」への対応を最重要課題ととらえています。理系を中心とする本学としては、次の3点を「グローバル人材育成」のゴールとしています。

- ◆ 異なる文化背景を有する人々とのコミュニケーションに積極的な態度を持つこと
- ◆ ツールとしての英語を習得しており、日常会話はもとより専門用語にも精通していること
- ◆ 「専門職業人」として最前線で活躍するために、世界を相手にした情報収集や情報発信の技能を持つこと

上記の目標を達成するために、本学では次の点を重視して、さまざまな国際交流プログラムを提供しています。

- ◆ 「グローバル社会」に対する入学時からの意識づけ
- ◆ 学年の進行に応じて段階的に高度化するプログラムを提供すること
- ◆ 海外の学生たちとの協働の実体験を通じた学びを取り入れること



語学研修・文化体験プログラム

Language Study Program / Cultural Experience Program

国際交流センターでは、夏期や春期の休暇期間中の2～4週間程度、海外協定校などの協力を得て、英語圏での語学研修プログラム、アジアでの文化体験プログラムを実施しています。2020年度はコロナウィルス感染拡大の影響により、全てオンラインで実施しました。

◆ 語学研修プログラムの概要

国、都市	フィリピン・セブ	オーストラリア・メルボルン
機関種別	語学学校	協定大学
機関名	Newtype International Language School (NILS)	スインバン工科大学
実施時期	夏期/1～2週間、春期/2～4週間	2021年2月15日～2月26日
内容	語学研修(英語)	語学研修(英語) 学生交流

◆ 文化体験プログラムの概要

国、都市	タイ・バンコク	インドネシア・マカッサル
機関種別	協定大学	
機関名	泰日工業大学	ハサヌディン大学
実施時期	2020年9月9日～9月10日	2020年11月9日～11月16日
内容	バーチャル観光 タイ語入門 伝統舞踊体験 歴史学習 学生交流	バーチャル観光 インドネシア語入門 伝統舞踊体験 漁師の生活と歴史の学習 料理紹介

語学研修プログラム

NILS(フィリピン・セブ)

【参加者】

夏期32人、春期20人

【内 容】

- ・語学学校と国際交流センターで設計した本学専用プログラム
- ・講師とのマンツーマン形式
- ・平日に1日4時間の英会話レッスン
- ・受講科目は各自で 選択可能
- ・事前にレベルチェックテストを実施

【大学からの費用支援】

- ・出席率により参加費の最大50%をキャッシュバック



(上)オンライン受講の様子 (下)卒業式集合写真

スインバン工科大学(オーストラリア・メルボルン)

【参加者】

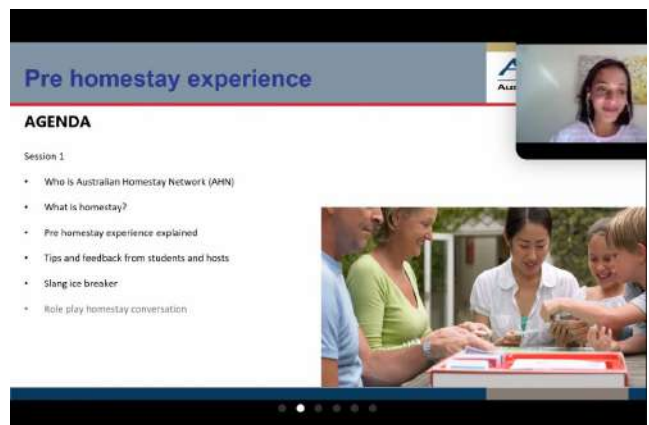
4人

【内 容】

- ・協定校主催のプログラムに他大学と合同で参加
- ・グループ授業(レベルに合わせてクラス分け)
- ・英語学習18時間、必須アクティビティ10時間の合計28時間
- ・バーチャルホームステイ3時間(希望者のみ)

【大学からの費用支援】

- ・出席率により参加費の最大50%をキャッシュバック



(上)バーチャルキャンパスツアー (下)バーチャルホームステイ

文化体験プログラム

泰日工業大学(タイ・バンコク)

【参加者】

3人

【内 容】

- ・協定校主催のプログラムに日本の他大学と合同で参加
- ・タイと日本の友好関係についての講義
- ・バーチャルキャンパスツアー
- ・初級タイ語講座
- ・タイの伝統舞踏体験



(上)バーチャルキャンパスツアー (下)タイ寺院の紹介

ハサヌディン大学(インドネシア・マカッサル)

【参加者】

6人

【内 容】

- ・協定校主催のプログラムに他大学と合同で参加
- ・テーマは「インドネシアの海洋文化：海洋資源の回復力と歴史的展望」
- ・バーチャル市内観光
- ・伝統舞踊レッスン
- ・インドネシア語初級講座(各地域の方言紹介)
- ・漁業や魚の調理方法紹介
- ・研究発表



(上)バーチャル観光 (下)インドネシアについての学習

国際 PBL プログラム

International PBL Program (Hands-on Engineering Program)

学部の2～3年生を主な対象として、海外の大学を活動の拠点にPBL(プロジェクト・ベースド・ラーニング)を実施するプログラムです。英語を使用言語として、海外の学生と混成チームを作り、それぞれの学生の専門性を発揮しながら、1週間程度、共通の課題に取り組むことで、学生の多様な能力を引き上げます。2020年度は新型コロナウイルスの影響により、オンラインで実施しました。

◆ 国際 PBL の概要

プログラムの特長

PBLは、与えられた課題を制限された条件下で取り組むことで、学生の多様な能力を引き出します。国際PBLでのグローバルな交流を通じて、PBLの達成感とダイバーシティ(多様性)を感じてもらうことが狙いです。



国際 PBL を行う意義



日本人とは異なる価値観を持った人たちと協働で作業に取り組むことで、予想外の多岐にわたるアイデアが生まれます。PBLのプロセスはイノベーションそのものなのです。本学では今後さらにグローバル化が進展する将来を想定して、異なる価値観を持つ海外学生とのPBLが有効と判断し、2013年度から本プログラムを開始しました。社会が求めるグローバル人材育成の目的の一つは「課題解決力」であり、本学が実施している国際PBLはまさにこの趣旨に合致するものです。

2020年度からは、SDGs(エスディージーズ/持続可能な開発目標)に関連したテーマを設定し世界共通の課題に取り組んでいます。

国際PBL

工学部応用化学科①

【ホスト校・参加人数】

芝浦工業大学/日本 6人

【参加校・参加人数】

台湾科技大学/台湾 3人

ウイダヤ・マンダラ・カトリック大学/インドネシア 10人

津田塾大学/日本 2人

大阪工業大学/日本 3人

【実施期間】

2020年8月19日～9月12日

【テーマ等】

日用品を使って化学反応を表現したコマ撮りアニメを作成する

【内容】

- ・チーム内で化学反応の絵コンテ(英文説明付き)を交換
- ・各チームで意見交換、コマ撮りアニメを作成
- ・コマ撮りアニメの相互投票(工夫の面白さ、化学合理性など)
- ・表彰、懇親会(大学紹介、各国の文化紹介など)



(上)インドネシアの紹介 (下)ローカルフードの紹介

工学部応用化学科②

【ホスト校・参加人数】

大阪工業大学/日本 12人

【参加校・参加人数】

ウイダヤ・マンダラ・カトリック大学/インドネシア 50人

【実施期間】

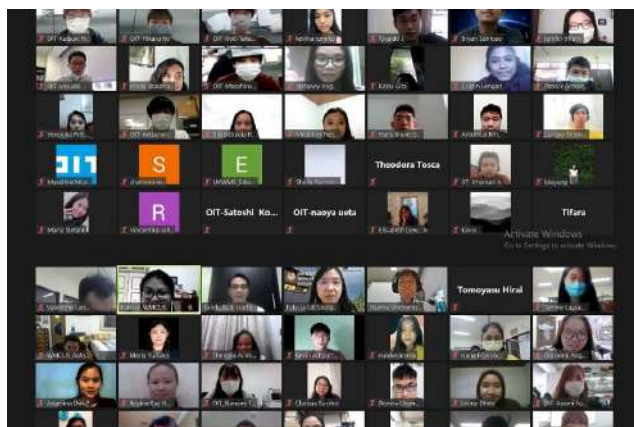
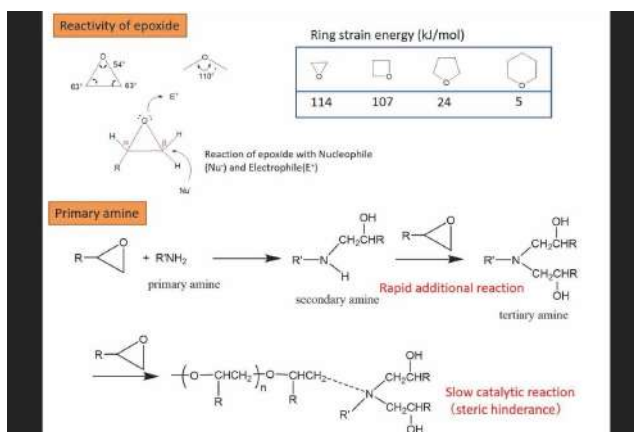
2021年1月19日～1月28日

【テーマ等】

液晶材料合成に関するPBL型研修

【内容】

- ・村岡教授による有機化学の特別講義14コマ
- ・下村准教授による講演、質疑応答
- ・平井准教授による講演、質疑応答、今後のテーマに関するディスカッション
- ・松田講師による講演、質疑応答、プログラムの総括



(上)後援会の様子 (下)参加者集合写真

学部・学科の独自プログラム

工学部(協定校とのオンライン交流プログラム)

【ホスト校・参加人数】

大阪工業大学工学部応用化学科/日本 10人

【参加校・参加人数】

ウィドヤ・マンダラ・カトリック大学/インドネシア 9人

【実施期間】

2021年1月19日～1月29日

【テーマ等】

持続可能な社会で活躍できる技術者をめざすための基礎力を身につけるプログラム

【内容】

- ・両大学の紹介、課題発表
- ・再生可能エネルギー創出技術に関する事例紹介
- ・エネルギー創出技術に関連する基礎知識の講義
- ・学生間のディスカッション、作業状況の把握と中間報告
- ・両大学から研究事例の紹介
- ・各チームによるプレゼンテーション、内容に関するディベート



(上) SDGsのターゲットについて事例紹介 (下) プレゼンテーション風景

テキスト&デザイン工学部(ものづくりデザイン思考実践演習Ⅰ)①

【ホスト校・参加人数】

大阪工業大学テキスト&デザイン工学部/日本 15人

【参加校・参加人数】

スタンフォード大学/アメリカ 2人

【実施期間】

2020年7月10日～7月31日

【テーマ等】

- ・ニューノーマル時代の距離や時間にとらわれない住宅
- ・家族コミュニケーションの未来のカタチ
- ・災害から命とモノを守る次世代住宅

【内容】

- ・スタンフォード大学のプレゼン受講と提案内容の指摘
- ・スタンフォード大へ改良案とプロトタイプの説明。参考資料などの指導を受けた。
- ・スタンフォード大へプロトタイプを説明。改良点などの指導を受けた。
- ・スタンフォード大に最終のプレゼンテーションを行い、良好なコメントをもらった。



成果発表ポスター

【ホスト校・参加人数】

大阪工業大学ロボティクス&デザイン工学部/日本 15人

【参加校・参加人数】

タマサート大学シリントーン国際工学部/タイ 10人

【実施期間】

2020年7月7日～8月6日

【テーマ等】

デザイン思考による健康と福祉についてのアジアの人々の課題解決

【内容】

- ・ 本学提案ビデオの公開
- ・ Google Meetでメンバー紹介、提案ビデオ紹介
- ・ 2カ国混成チーム決定、タイメンバーからのコメント、課題再定義
- ・ プロトタイプとビデオ作製
- ・ プレゼンテーション、デモ
- ・ ビデオアップロード、タイのメンバーにも公開。最終発表に反映

冷房装置付pm2.5対策ヘルメット Fresh Air Helmet 国際PBL(タイ:タマサート大) チームD:交通

・ 趣旨
タイではPM2.5による大気汚染とバイクによる交通事故の多さが問題となっている。そこでユーザーを都市部のバイク利用者とし、ヘルメットに大気汚染による健康被害を軽減させる機能をつけることとなった。
また、全国のヘルメット着用率は43% [1]と半数以下となっている。タイの年間平均気温は29℃ [2]と高く、多湿な気候のため、クーラーをヘルメットに取り付けることでヘルメットの着用率を上げることも目標にし、課題解決に取り組んだ。

・ 解決策
フィルターと冷房装置を取り付けたヘルメット

・ クーラー
ヘルメット内部が暑くなるのを防ぐために後方にクーラーをつける

・ フィルター
ヘルメットの前方にPM2.5を防ぐフィルターと空気を取り込むファンを取り付け、フィルター以外から風が入らないようにする

・ 仕様
電源はバイクのバッテリーに繋げて使用する。消費電力は15V-10W
フィルター交換可能

・ ヘルメット素子
ヘルメット素子の両側をアルミニウムとファンで挟み、片側から冷気、もう片側から熱を逃がす

・ ヘルメット素子
直流電流を流すと一方の面が発熱し、反対面に発熱が起こる半導体素子

・ 温度変化
気温34℃の屋外で10分間クーラーを使用した場合のヘルメット内部の温度変化(前:左38.7℃ 後:右33.3℃)

成果発表ポスター

【ホスト校・参加人数】

大阪工業大学ロボティクス&デザイン工学部/日本 9人

【参加校・参加人数】

マレーシアサバ大学/マレーシア 9人

【実施期間】

2020年7月15日～8月

【テーマ等】

日本、マレーシアのwithコロナ時代における共通課題の解決

【内容】

- ・ Zoomにて大学紹介、自己紹介、グループ分け
- ・ グループごとに両大学学生間でLINEグループを作成し、以後随時打ち合わせやオンライン会議を実施
- ・ Zoomにて全体打ち合わせ、各班でアイデア出し(プロトタイプ作成は工大学生が担当)
- ・ プロトタイプが完成した班から随時マレーシアサバ大教員と学生に共有し、コメントを取得、最終資料に反映

乗車中の消毒、できていますか?

顔を触る、マスクを外す
ついやってしまいがちですね?
これからは乗降時だけでなく乗車中も、

猫撫太郎

バス中での消毒

国際PBL(マレーシアサバ大) 1班

使用方法
①猫が来たらの頭をなでよう ②矢印の方向にボールを回すと消毒液が付く ③次の座席に移動

ボールを水+エタノールで消毒

着座時に触れやすい高さに設定

詳細
UVLED 地面、液体の消毒
モーター
タイヤの稼働

成果発表ポスター

味`ティクス&デザイン工学部(ものづくりデザイン思考実践演習 I)④

【ホスト校・参加人数】

大阪工業大学味`ティクス&デザイン工学部/日本 13人

【参加校・参加人数】

国立雲林科技大学/台湾 10人

【実施期間】

2020年7月6日～7月10日

【テーマ等】

健康と福祉

【内容】

- ・大学紹介、グループ単位で自己紹介ポスターを作成して発表
- ・雲林科技大教員の講義、ターゲットユーザ(ペルソナ)と課題の設定
- ・問題解決のアイデア出し、親睦会
- ・本学教員の講義、課題解決方法提決定、発表資料作成
- ・各グループの提案発表

国際PBL(台湾:雲林科技大) Group2
事故防止機能付き歩行アシストデバイスの提案

ペルソナ


- ・70女性
- ・1人暮らし
- ・無職
- ・田舎に住んでいる
- ・家で過ごす時間が多い

課題

- ・年と共に足が弱ってきた


 10分～15分程度歩いて行っていたスーパーへの買い物が難しくなってきた

横断歩道時の歩行支援

 横断歩道の横断時の問題に着目
 ・途中で信号が変わってしまう
 ・信号が変わったことに気が付かない
 ↓
 事故発生
 横断歩道での事故防止はできないのか?

アタッチメントタイプの提案
 一般的な歩行補助装置に装着することで、信号検出をして、サポートする装置を提案

 ハンドルに装置を装着
 →カメラによる信号検出
 →ブレーキ制御
 →振動による通知

信号検出と動作

 約5m前から信号の検出と色の判定ができることを可能
 ↓
 赤信号
 自動ブレーキ作動
 ↓
 青信号
 ハンドルが振動

味`ティクス&デザイン工学部(ものづくりデザイン思考実践演習 I)⑤

【ホスト校・参加人数】

大阪工業大学味`ティクス&デザイン工学部/日本 9人

【参加校・参加人数】

プラット工科大学/アメリカ 学生、卒業生他 14人

【実施期間】

2020年5月12日～8月20日

【テーマ等】

海外でも注目されている「生きがい(İKIGAI)」について、異なる歴史や文化を背景とするニューヨークの人々が共感できるプロジェクトの立案


【内容】

- ・プラット工科大学教員のオンライン授業
- ・「生きがいを生み出すデザイン」の提案ビデオ(英語)の発表
- ・プラット工科大学を中心に各国の方にビデオの講評、フィードバックを受けた。
- ・クイーンズ美術館キュレーターによる英語の解説講義

NEW YORK
X
DESIGN FUTURES

Proposal
It was IKIGAI that everyone could enjoy movie and karaoke
↓
Lose it because of corona
↓
Design a new type of IKIGAI with corona
↓
CAPSULE THEATER

How to use
A capsule theater is a completely private space with public elements that can be enjoyed by one person. This facility can enjoy movie in the capsule, where you can enjoy powerful images and sound in the form of a display throughout the entire space. And you have glorious of nature in this capsule.



CAPSULE THEATER

知的財産研究科(WIPO研修生オンライン授業受入れ)

【受入人数】

10人(マレーシア、フィリピン、スリランカ、タイ、ベトナム)

【実施期間】

2020年10月6日～2021年1月20日

【内容】

2016年度より実施しているWIPO(世界知的所有権機関)研修員の受入れを、「IP Studies I」、「IP Studies II」2科目のオンライン受講に変えて実施

《 IP Studies I 》	
第1回	知的財産法の基礎
第2回	特許法と実用新案法 I
第3回	特許法と実用新案法 II
第4回	特許法と実用新案法 III
第5回	日本政府の知的財産施策
第6回	意匠法
第7回	特許実務
第8回	商標法 I
第9回	商標法 II
第10回	商標実務
第11回	営業秘密と不正競争防止法
第12回	特許情報検索I
第13回	特許情報検索II
第14回	修了式
《 IP Studies II 》	
第1回	知財とビジネス
第2回	マーケットと知財
第3回	事業戦略と知財
第4回	事業戦略と知財
第5回	知財戦略
第6回	産業界団体
第7回	日本企業の知財活動
第8回	知財ライセンス
第9回	産学連携
第10回	知財評価
第11回	知財評価
第12回	知財マネジメント
第13回	知財マネジメント
第14回	修了式

IP Studies 授業計画

協定校主催のプログラム

オンライン国際ジョイントプログラム

【ホスト校】

ウィドヤ・マンダラ・カトリック大学/インドネシア 15人

【参加校・参加人数】

国立台湾科技大学/台湾 2人

芝浦工業大学/日本 3人

大阪工業大学/日本 12人

【実施期間】

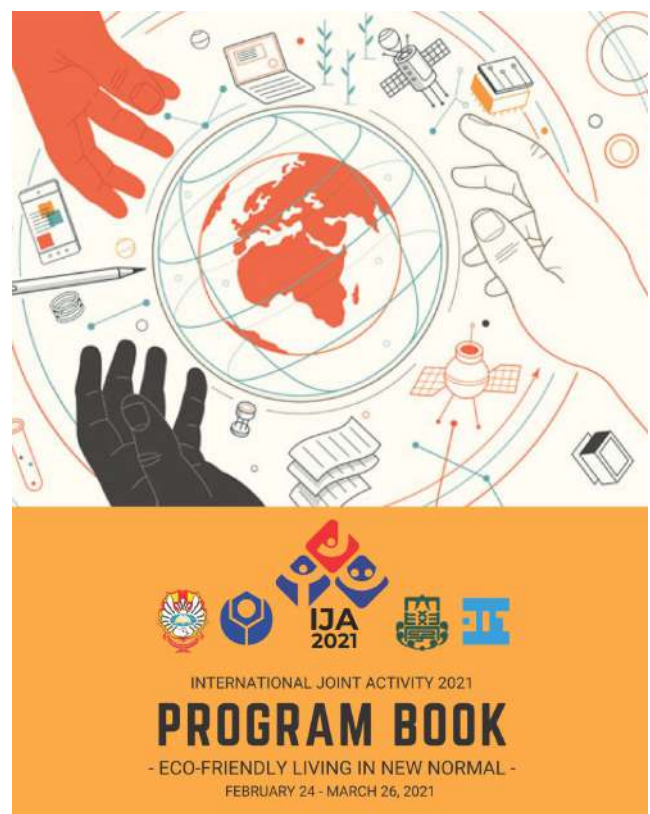
2021年2月24日～3月26日

【テーマ等】

ECO-FRIENDLY LIVING IN NEW NORMAL

【内容】

- ・自己紹介、グループ分けとプロジェクトの説明
- ・ブレインストーミングを通してテーマを決定、アイデアのプレゼンテーション
- ・ビデオの企画、デザイン、制作
- ・Youtubeなど様々なソーシャルメディアでビデオを公開、評価を経て優秀作品を表彰



Proudly hosted by Widya Mandala Surabaya Catholic University

プログラムブック

大阪工業大学 海外交流協定締結機関一覧

本学では、豊かな国際感覚を身につけた人材の育成をめざし、海外の大学・機関との学術・人的交流の促進を積極的に図っています。本学と研究協定等を締結している海外の大学・機関をご紹介します。

◎は交換留学が可能な大学

国名	交流大学等		協定締結年月	協定の概要
	和文	英文		
中国	◎ 香港城市大学	City University of Hong Kong	2004年5月	交換留学(1年以下)にかかる協定
	華東理工大学	East China University of Science and Technology	2017年3月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
	◎ 同濟大学	Tongji University	1992年11月	学術交流および友好協力関係に関する覚書
			2010年2月	学生の交換留学(1か月以下)に関する協定
	清華大学	Tsinghua University	1993年12月	学術と教育の交流に関する包括的な覚書
	浙江大学	Zhejiang University	2016年5月	工学分野における学術・教育に関する包括的な覚書
	浙江省寧波市	Ningbo, China	2008年9月	環境問題を中心とした改善に関する協定
北京科技大学	University of Science and Technology Beijing	2020年1月	学術・学生交流に関する包括的な覚書	
韓国	◎ 大田大学校	Daejeon University	1994年7月	学術・学生交流に関する包括的な協定
			2014年3月	学生交流に関する協議書
	仁済大学校	Inje University	2017年1月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
	国民大学校	Kookmin University	2017年1月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
モンゴル	モンゴル工業技術大学	Institute of Engineering and Technology	2019年12月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
インド	◎ マニパル大学	Manipal Academy of Higher Education	2017年11月	学術・学生交流に関する包括的な覚書 学生交流に関する協定
インドネシア	パラカラヤ大学	Palangka Raya University	2015年5月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
	ウイダヤ・マンダラ・カトリック大学	Widy Mandala Catholic University Surabaya	2017年4月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
	ムラワルマン大学	Mulawarman University	2018年1月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
	バクリ大学	Bakrie University	2018年4月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
	◎ ハサヌディン大学	Hasanuddin University	2020年10月	学術・学生交流に関する包括的な覚書 学生交流に関する協定
マレーシア	マレーシア工科大学	Universiti Teknologi Malaysia	2013年5月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
	マレーシアサバ大学	Universiti Malaysia Sabah	2018年11月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
	◎ ペトロナス工科大学	Universiti Teknologi PETRONAS	2019年7月	学術・学生交流に関する包括的な覚書 学生交流に関する協定
フィリピン	サンホセレコレトス大学	University of San Jose-Recoletos	2020年1月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
台湾	国立虎尾科技大学	National Formosa University	2007年1月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
	国立高雄科技大学	National Kaohsiung University of Science and Technology	2009年6月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
	◎ 国立台北科技大学	National Taipei University of Technology	2012年3月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
			2017年3月	交換留学(1年以下)にかかる協定
	◎ 国立台湾科技大学	National Taiwan University of Science and Technology	2013年10月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
	◎ 国立清華大学	National Tsing Hua University	2014年9月	学術・学生交流に関する包括的な覚書 学生交流に関する協定
	◎ 国立雲林科技大学	National Yunlin University of Science and Technology	2007年2月	学術交流に関する包括的な覚書
			2020年2月	学生交換に関する協定
	◎ 南台科技大学	Southern Taiwan University of Science and Technology	2016年1月	学術・学生交流に関する包括的な覚書 交換留学(1年以下)にかかる協定
			2020年2月	学生交流に関する協定
	世新大学	Shih Hsin University	2009年3月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
	◎ 大同大学	Tatung University	2016年9月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
			2019年1月	学生交流に関する協定
台湾經濟部	The Ministry of Economic Affairs, Taiwan (MOEA)	2020年2月	就職支援に関する覚書	
◎ 国立中興大学	National Chung Hsing University	2020年9月	学術・学生交流に関する包括的な覚書 学生交流に関する協定	
タイ	◎ タマサート大学シリントーン国際工学部	Sirindhorn International Institute of Technology - Thammasat University	2014年6月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
	泰日工業大学	Thai-Nichi Institute of Technology	2009年2月	短期学生交換に関する協定

国名	交流大学等		協定締結年月	協定の概要
	和文	英文		
ベトナム	ダナン工科大学	University of Science and Technology - The University of Danang	2016年3月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
	カントー大学	Can Tho University	2019年11月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
サウジアラビア	キング・アブドゥルアズィーズ大学	King Abdulaziz University	2010年7月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
オーストラリア	クイーンズランド工科大学	Queensland University of Technology	2009年3月	短期語学研修(派遣)に関する協定
	スウィンバン工科大学	Swinburne University of Technology	2015年6月	学術交流に関する覚書および語学研修にかかる協定
フィンランド	◎ タンペレ大学	Tampere University	2014年2月	学生の交換留学、教職員交流に関する協定
スウェーデン	◎ ウプサラ大学	Uppsala University	2018年5月	学術・学生交流に関する包括的な協定(情報科学部/研究科)
			2019年9月	学生交流に関する協定(全学部対象)
ノルウェー	◎ スタヴァンゲル大学	University of Stavanger	2015年6月	学生交換留学に関する協定
			2020年7月	学術交流に関する包括的な覚書
ポーランド	◎ ワロツワフ工科大学	Wroclaw University of Science and Technology	2011年4月	学術・学生交流に関する包括的な協定
オーストリア	◎ ウィーン工科大学	Technische Universität Wien	2013年5月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
ドイツ	◎ ヴァッパタル大学	Bergische Universität Wuppertal	2010年3月	学術・学生交流に関する包括的な協定
			2018年3月	学生交流に関する協定
	◎ ミュンヘン工科大学	Technische Universität München	2009年12月	学術交流に関する包括的な覚書(工学部)
			2020年10月	学生交流に関する協定(工学部)
	◎ ミュンヘン防衛大学	Universität der Bundeswehr München	2009年12月	学術交流に関する包括的な覚書
			2020年7月	学生交換に関する協定
オランダ	デルフト工科大学	Delft University of Technology	2016年6月	航空宇宙工学分野における学術・教育に関する包括的な覚書
フランス	◎ バリ・デジタルイノベーション大学院	Ecole pour l'informatique et les nouvelles technologies (EPITECH)	2019年11月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
	◎ ボルドー大学	The University of Bordeaux	2020年12月	学術・学生交流に関する包括的な覚書 学生交流に関する協定
スペイン	サラマンカ大学	University of Salamanca	2013年5月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
	◎ マドリッド工科大学	Universidad Politécnica de Madrid	2015年6月	学術・学生交流に関する包括的な協定
			2020年6月	学生交流に関する協定
アメリカ	◎ アンジェロ州立大学	Angelo State University	2015年4月	学生の交換留学、教職員交流に関する協定
	クレムソン大学	Clemson University	2016年8月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
	ライス大学	Rice University	2010年2月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
	サンノゼ州立大学	San Jose State University	1997年5月	学術交流および友好協力関係に関する覚書・短期語学研修
	ジョージア工科大学	Georgia Institute of Technology	2018年6月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
メキシコ	◎ グアナフアト大学	The University of Guanajuato	2019年10月	学術交流に関する包括的な覚書/学生交換に関する協定

【交換留学(派遣)について】

◎を付した大学、またはUMAPの加盟大学(約600校)へ、最長1年間、基本的に学費負担なしで留学することができます。大学により留学形態(授業履修、研究など)や語学要件、派遣人数など、条件が異なりますので、詳細は国際交流センターにお問い合わせください。

【受入れ交換留学生との交流】

海外協定校から受け入れた交換留学生は、本学学生とともに授業履修や研究活動を行うほか、クラブ活動や学内行事への参加を通じて本学学生と交流を深めています。

秋の遠足
(2019年12月)
宇治の平等院



冬の遠足
(2020年2月)
カップラーメン



キャンパスでの国際交流

Language Learning Center (LLC)

LLCは皆さんの英語学習のための「英語空間」。スタッフは国際色豊かでフレンドリーです。

LLCでは、英語学習教材、映画のDVD、ゲーム、雑誌などが利用できます。またコンサルテーション・ルームで先生と会話練習をしたり、自分に合った英語学習プランのアドバイスを受けることもできます。

【場 所】

大宮キャンパスChast(受付2階)

※梅田・枚方キャンパス向けの講座もあります。

【開室時間】

授業期間中の(月)～(金)9:00～19:00

【WEBサイト】

<https://www.oit.ac.jp/japanese/learning/llc/>



Created by
International Friendship Club

Club captain : NOAH TUEROS
Vice captain : SHONOSUKE KAJITA
And 13 other members

国際友好部 大阪工業大学

There is also an elevator bar that opened for the first time in Kansai region on this floor.

With the renovation of the school building, and the courtyard.

This campus in an area of 169,600㎡.

国際友好部

国際友好部は国際交流を通してグローバル人になることを目標に、交換留学生のサポートや正規留学生とのイベントなどを企画しています。

2020年度は新型コロナウイルスの影響で活動が制限される中、3キャンパスの紹介動画(日本語版・英語版)を作成しました。日本語版は新入生向けに、英語版は未来の海外交換留学生たち向けに、キャンパスツアーの一助にしたいとの思いで、部員で手分けしてカメラ撮影取材し、編集、字幕作成・英訳などを行いました。

学内で国際交流したい方や国際友好部の活動に関心のある方は、国際交流センターまで気軽にお問い合わせください。

【キャンパス紹介動画】

日本語版：<https://youtu.be/hWjxOC6SHKk>

英語版：<https://youtu.be/-c054Ne2ZdE>

国際交流センター

本学では国際交流を推進するために、国際交流センターを設置しています。当センターでは、主に在学生の海外派遣や、海外からの留学生・研修生の受け入れのほか、留学希望者への各種情報の提供や、さまざまなアドバイスを行っています。学内・学外とのネットワークを生かし、大学全体で「国際」的な事業展開を推進していくミッションを実現するためのツールとして少しでもお役に立ちたいと考えています。

留学はもちろん、異文化や留学生との交流に興味のある方は、気軽に国際交流センターまでご相談ください。

【開室時間】

月～金曜日 9:00～17:00

土曜日 行事と事前予約の場合を除き閉室(メール対応のみ)

【場 所】

大宮キャンパスChast1階



映画を通じて「SDGs」を一緒に学びませんか！

興味のある人は「国際交流」のページから以下のアイコンをクリックして映画視聴登録してください。アンケート協力者にはSDGsバッジを進呈します！

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 「SDGs」オンライン映画配信サービス



「SDGs」オンライン映画配信サービス

本学では国際PBLの今後5年間の共通テーマを「SDGs」(持続可能な開発目標)としています。そこで国際交流センターは、社会課題(環境、平和、食、人権、多様性、エネルギー)などSDGsをテーマとする世界のドキュメンタリー映画を本学学生と教職員の皆さまが自由時間に無料で楽しんでいただけるプログラムを用意しました。関心のある方は、ぜひ国際交流センターのWEBサイトページからお申込みください。この機会にSDGsに対する理解を深め、皆さんの専門分野に即した研究課題発見に役立てていただければ幸いです。

2020年度国際交流プログラム活動報告

大阪工業大学国際交流センター

編集・発行 大阪工業大学 国際交流センター

〒535-8585 大阪市旭区大宮5丁目16番地1号

TEL (06)6954-4935

Homepage: <http://www.oit.ac.jp/japanese/international/>

Twitter: https://twitter.com/OIT_INTL

2021年4月30日 発行



